

特別展 生誕150年 木島 櫻谷

泉屋博古館東京

【主催】公益財団法人泉屋博古館、毎日新聞社

2027年6月5日[土]—8月1日[日]

京都市京セラ美術館

【主催】京都市、毎日新聞社、京都新聞、BSフジ、ライブエグザム

2027年10月2日[土]—12月12日[日]

【特別協力】公益財団法人櫻谷文庫

2027年、 新しい物語が始まる

KONOSHIMA
OKOKU
THE 150TH
ANNIVERSARY
OF HIS BIRTH

公式サイト
<https://okoku150.jp>

公式X・Instagram
[@okoku150](#)

木島櫻谷《寒月》(左隻部分)大正元年(1912)京都市美術館



このしまおうこく
特別展「生誕 150 年 木島櫻谷」
2027 年 開催のお知らせ

「動物画の名手」過去最大規模の回顧展を東京・京都の2会場で開催！

泉屋博古館東京（東京都港区）と京都市京セラ美術館（京都市左京区）は来年 2027 年、明治から昭和にかけて京都で活躍した日本画家・木島櫻谷（1877-1938）の生誕 150 年を記念し、「生誕 150 年 木島櫻谷」を開催することとなりました。

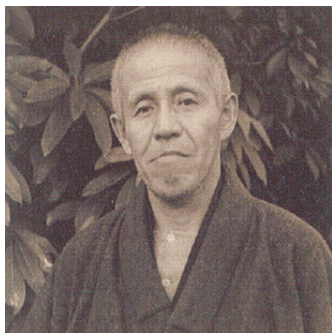
本展について

本展は、近年再評価が進む木島櫻谷の画業を過去最大規模で紹介する回顧展です。櫻谷は明治 40 年（1907）の第 1 回文部省美術展覧会（文展）で首席となって以降、6 年連続で上位入賞するなど、京都画壇を代表する存在として広くその名を轟かせました。しかし、「文展の寵児」と称された生前の華々しい活躍とは対照的に、没後は長らく顧みられる機会に恵まれず、次第にその名も忘れられていきました。

そうしたなか、2010 年代に泉屋博古館で開催された複数の展覧会などを通して、動物画を中心に櫻谷に再び注目が集まり、再評価が急速に進みました。発表当時、夏目漱石が酷評した《寒月》（京都市美術館）も、「動物画の名手・櫻谷」を代表する作品として、今では多くのファンから愛されています。

生誕 150 年を記念して開催する本展は、こうした近年の動向をふまえながら、《寒月》をはじめとする優品を一堂に会するとともに、初出展作品や新出資料なども加えて、櫻谷の画業を見渡すものです。画の道を真っすぐに生きた櫻谷と私たちの新しい物語が、本展から始まることに期待しています。

木島櫻谷略歴



明治 10 年（1877）、都の文化が息づく京都三条室町の商家に生まれる。本名は文治郎。京都画壇の重鎮であった今尾景年に画を学ぶ。明治 40 年（1907）に、日本初の国が主催する公募展として開催された第 1 回文部省美術展覧会（文展）に出品した《しぐれ》が最高賞に選ばれて以来、大正元年

（1912）第 6 回の《寒月》まで、6 年連続で上位入賞する快

挙を果たした。なかでも《寒月》は、櫻谷を推す今尾景年と

安田靫彦を推す横山大観との間で審査上の対立があったと伝えられ、さらに夏目漱石が新聞紙上で酷評するなど、賛否両論を呼んだ問題作として知られている。

その後も文展や帝展の審査員を務めながら精力的に制作を続けたが、大正末頃より、衣笠の自邸での時間に重心を移し、絵画制作や読書、詩作といった詩書画三昧の文人的生活を送った。昭和 13 年（1938）11 月 3 日、62 歳でその生涯を閉じた。

京が育んだ美的な感覚、卓越した筆技、徹底した写生に基づく確かな描写、そして対象への共感にみちた眼差しとほのかな抒情を感じさせる洗練された画風が特徴。動物画で有名だが、山水や花木、歴史、人物を描いた作品にも多くの名品が残る。



開催概要

展覧会名 特別展「生誕 150 年 木島櫻谷」

東京会場

会場：泉屋博古館東京（東京都港区六本木 1 丁目 5 番地 1 号）

会期：2027 年 6 月 5 日（土）～8 月 1 日（日）

主催：公益財団法人泉屋博古館、毎日新聞社

特別協力：公益財団法人櫻谷文庫

京都会場

会場：京都市京セラ美術館（京都市左京区岡崎円勝寺町 124）

会期：2027 年 10 月 2 日（土）～12 月 12 日（日）

主催：京都市、毎日新聞社、京都新聞、BS フジ、ライブエグザム

特別協力：公益財団法人櫻谷文庫

※休館日観覧料などの詳細は、決定次第公式サイトなどで公開します

公式サイト・SNS

公式サイト：生誕 150 年 木島櫻谷

<https://okoku150.jp>

X：特別展「生誕 150 年 木島櫻谷」

<https://x.com/okoku150> @okoku150

Instagram：おでかけ！【生誕 150 年 木島櫻谷】

<https://www.instagram.com/okoku150> @okoku150

note：バックヤード【生誕 150 年 木島櫻谷】

<https://note.com/okoku150>



広報提供画像・キャプション一覧 (2026年4月時点)

No.	キャプション ※スペースがなければ制作年代は省略可
①	木島櫻谷《寒月》(左隻) 大正元年(1912) 京都市美術館
②	木島櫻谷《寒月》(右隻) 大正元年(1912) 京都市美術館
③	木島櫻谷《寒月》(左隻部分) 大正元年(1912) 京都市美術館
④	木島櫻谷《寒月》(左隻部分) 大正元年(1912) 京都市美術館
⑤	特別展「生誕150年 木島櫻谷」予告ビジュアル ※キャプションなしで掲載可



広報画像のダウンロードは以下の URL (QR コード) から申請いただけます。

ARTPR : <https://www.artpr.jp/senoku-tokyo/okoku150>



■ 報道関係者 お問い合わせ先

泉屋博古館東京 担当：橋本 (広報担当)

TEL: 03-3584-8136 E-MAIL: pr-tokyo@sen-oku.or.jp

※京都会場についてのお問い合わせ

京都市京セラ美術館 担当：西谷・川口・廣海 (広報担当)

TEL: 075-275-4271 E-MAIL: pr@kyoto-museum.jp